

2026年02月16日

課題名：X線一般撮影ワークフローに統合した左右不整合自動検出の検証

◆研究の目的と概要◆

X線一般撮影の左右間違いを低減するため、AIで画像内R/Lマーカを検出し、オーダ情報と照合して左右不整合を自動判定できるか検証します。

◆対象となる患者さん◆

2025年1月から、2026年2月までの間に、当院でX線一般撮影を受けた方

◆研究に使用される情報・試料◆

X線一般撮影画像（DICOM）と撮影情報、DICOMヘッダのオーダコード、AI検出・照合結果、年齢区分（成人/小児）

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年4月1日以降

◆研究方法◆

画像受信時にAIで左右マーカを検出し、オーダ情報と照合してQC判定し、分類精度を評価します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

一般画像検査室 研究責任者 横道 京香

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明